

5月放送総局長定例記者会見要旨**(1) NHKスペシャル シリーズ「スペース・スペクタクル」 (木田放送総局長)**

6月から3回にわたってお送りするNHKスペシャル「スペース・スペクタクル」では、櫻井翔さんが宇宙へナビゲート。最新科学をもとに“驚きに満ちた宇宙の姿”、そして“宇宙と私たち生命の知られざる絆”を描く。

第1集のテーマは「宇宙人」。実はいま、多くの天文学者が「宇宙人はいる」と信じている。おとし、太陽系の外から飛んできたと見られる天体が地球に急接近し、太陽系外へと飛び去ったが、ハーバード大の教授らは宇宙人が作った“宇宙船”だと唱えている。いま、そんな「宇宙人の星」を探す取り組みが世界各地で進められている。去年、稼働した宇宙望遠鏡TESSは、360度、50万個の星々をくまなく観測し、生命が存在する可能性がある星を探している。果たして「宇宙人の星」は見つかるのか？宇宙人研究の最前線をご紹介します。

第2集では、宇宙を一変させたブラックホールの実像に迫る。また第3集では、はやぶさ2の新たなミッションに密着し、その最新成果から「なぜ地球に生命が誕生したのか？」という壮大な謎を解く鍵を探る。

(詳細は配付資料を参照)

**(2) NHKスペシャル シリーズ「恐竜超世界」 (木田放送総局長)**

7月のNHKスペシャル、シリーズ「恐竜超世界」では、陸と海という二つの世界で繰り広げられていた壮大な恐竜たちのドラマを2回にわたってお伝えする。

6600万年前、隕石衝突による絶滅の前夜、恐竜に代表される当時の生物は、地球の生物史上、類を見ないほど多様に、そして究極の進化を遂げていたことがわかってきた。陸には想像を超える姿の恐竜が君臨し、海はその恐竜を寄せ付けないほどの力を持つ巨大竜が制覇していたとみられている。恐竜時代の世界観を刷新したのは、相次ぐ化石の発見と最新の科学分析。これまで発見された恐竜の化石は1000種に上るが、それは恐竜全体のわずか1%にすぎないという。ところがこの10年ほど、残る99%についての研究が飛躍的に進み、恐竜たちの姿形をよみがえらせただけでなく、どのように暮らし、戦い、子孫を残し、そして死んでいったのか、精密な再現まで可能になった。

番組では、実写合成による超精密CGを駆使して、最新知見に基づく恐竜世界をこれまでにない精密さでよみがえらせる。

(詳細は報道資料を参照)

**(3) 「いつか来る日のために 証言記録スペシャル 雨季到来！いまずぐ役立つ“豪雨対策”」**

(木田放送総局長)

死者・行方不明者が230人を超えた西日本豪雨から、もうすぐ一年。西日本豪雨では、避難勧告・避難指示が出ているにもかかわらず、実際に避難所に行った人は対象者のわずか0.5%だった。各自治体がまとめた住民アンケートでも「災害になるとは思わなかった」「避難のタイミングがわからなかった」という声が圧倒的に多い結果となっている。

6月16日に放送する「いつか来る日のために 証言記録スペシャル」では、“いざ豪雨が来たら、具体的にどうやって身を守るのか？”というテーマにしぼり、どのタイミングで逃げるべきか、どこに逃げるのか、これまで蓄積されてきた数々の証言をベースに、実用的な知恵をご紹介します。実際に災害が起きたとき、慌てずに行動するヒントをお届けする番組。

(詳細は報道資料を参照)

#### (4) 「世界最古の演劇 能楽 パリに舞う」 (鈴木副総局長)

BS4Kでは、6月29日に「世界最古の演劇 能楽 パリに舞う」を放送する。

650年以上前に観阿弥・世阿弥親子が大成した能楽は、「現存する世界最古の演劇」とも言われている。最近では海外でもたびたび能楽公演が行われるようになったが、とりわけフランスでは人気が高い。日仏友好160年の年にあたり、パリでは「ジャポニスム2018」という日本の芸術文化を紹介する大規模な催しが、去年の夏から今年の春にかけて開催された。ことし2月に5日間にわたって行われた能楽公演では、音楽ホールに屋根付きの能舞台を設営するなど、より本格的な雰囲気での公演が大きな話題となり、5日間ともチケットが売り切れとなる盛況ぶりだった。番組では、今回のパリ公演から、観世流のベテラン能楽師・浅見真州さんが、主役であるシテを務めた能屈指の名作「砧」全編をお楽しみいただく。また、人間国宝の野村萬さんらが出演した他の公演を一部ご紹介するとともに、能舞台設営の様子やパリっ子たちの感動の声もドキュメントでご紹介する。

(詳細は報道資料を参照)

#### (5) スポーツ×ヒューマン「自らの力信じて～卓球・早田ひな 崖っぷちからの挑戦～」

(正籬副総局長)

東京オリンピックまで、あと1年2か月。NHKでは、オリンピック・パラリンピック関連の番組をますます充実させていく。

BS1の「スポーツ×ヒューマン」では6月17日、卓球女子で、しれつな代表争いに挑んでいる18才の早田ひな選手を取り上げる。

早田選手は、同世代の伊藤美誠選手、平野美宇選手と、中学時代からしのぎを削ってきた。伊藤選手と組むダブルスでは、先月行われた世界選手権で準優勝。シングルスでは、国際大会で元世界1位の中国の選手を破って優勝するほどの実力の持ち主だ。武器は、1メートル66センチの長身と、長い手足から繰り出される強烈なドライブ、他の日本人選手にはないダイナミックなプレーが魅力だ。

しかし、代表争いでは苦戦している。東京オリンピックには、卓球女子では3人選ばれる予定で、選考には世界ランキングが大きく関係する。早田選手はめざましい活躍をする一方で、大事な試合では取りこぼしがあり、思うようにランキングを上げることができないでいる。「勝負どころで出る自分の気持ちの弱さ」と向き合い、克服しようと戦っている。

番組では、早田選手を半年間取材し、大きな夢に向かい、試行錯誤を繰り返しながら成長を続け奮闘する日々を見つめる。

(詳細は報道資料を参照)

#### (6) BS1スペシャル「光さす海へ ～世界初！全盲ヨットマンの太平洋横断～」 (正籬副総局長)

BS1で6月30日に「光さす海へ ～世界初！全盲ヨットマンの太平洋横断～」を放送する。

52歳の全盲のヨットマン・岩本光弘さんが、この4月に小型ヨットでの太平洋横断に成功した。世界初の快挙ということでニュースでも報じられた。岩本さんは生まれつき目に障害があり、高校生の時に全く見えなくなった。ヨットとの出会いは20年前。視覚障害があっても操れるヨットの魅力にひかれ、鍛錬を重ねて、プロとしてヨットレースに出るまでになった。そんな岩本さんが抱いた夢が太平洋横断。2度目の挑戦となる今回は、日本在住の実業家ダグラス・スミスさんとタッグを組んでの航海だ。

番組では、ヨットに4台の小型カメラを設置し、毎日メールで交信しながら太平洋横断の様子を記録した。55日間の過酷な航海を、つぶさに描く。

(詳細は報道資料を参照)

(7) 「師弟物語 ～人生を変えた出会い～田中将大×野村克也」 (鈴木副総局長)

BSプレミアムでは、著名人が初めて明かす師匠と弟子の熱きドラマを解き明かすドキュメント「師弟物語」をお届けする。

今やニューヨーク・ヤンキースのエースとなった田中将大投手にとって、忘れることのできない師匠が、かつての所属チーム楽天イーグルスで薫陶を受けた、名将・野村克也さんだ。高校卒業後、楽天に入団した田中投手は、プロ初登板から3試合連続でノックアウトされ、自信を失いかける。しかし、4戦目で完投勝利を飾り、そのわずか2か月後には高卒ルーキーとしては異例の完封勝利を手にする。その陰には、野村監督の教えがあった。

入団からキャンプ、プロ初登板、初の完投勝利まで、野村監督は何を教え、田中投手は何を受け取ったのか？10年以上秘められてきたドラマを二人が初めて語る。

(詳細は報道資料を参照)